



注意！

荷降ろし・開梱前に必ずこの注意書きをお読みください！

北欧材ウッドハウス

WH-180G

WH-230G

**簡単なメンテナンスで長寿命
独自技術とオリジナル設計で
多雨多湿、地震・台風の日本での使用に長期間対応
しかも超簡単組立**

荷降ろしのための準備

1. 商品は木枠梱包になっています。
配達された際、トラックからの荷降ろしはパワーリフトで行います。パワーリフトが無い場合は手降ろしになります。
2. 手降ろしの際はトラックの運転手以外に二人以上で行ってください。
荷降ろしの際、またその後の商品の置き場で、次のようなことが必要です。
 - ① (インパクト)電動ドリル: 木枠梱包を外すため。
 - ② バール: 木枠梱包を外すため。
 - ③ 軍手: 手を守るため。
 - ④ 安全に卸していただくため、靴や服は動きやすいものを身に付けてください。
 - ⑤ 大き目のパレット、又はダンボールなど: 下ろしたパネルを積み上げるため。

多くの場合、トラックの近くに一旦降ろし、その後お庭へ移動していただくこととなります。従って、パネルを積むパレットやダンボールは多めにご用意ください。
- ⑥ 大き目のブルーシートあるいはビニールシート: 積み上げたパネルを雨や雪から守ります。
- ⑦ みかん箱ほどの段ボール箱などの容器: ドアノブ、ネジ、ネームプレートなどの部品を入れておくためのものをご用意ください。

3. パネルを移動したり、積み上げるときは特に次の部分が破損したり傷んだりしないよう十分に注意してください。

① パネルの片方の端は凸又は凹状で、傷みやすくなっています。

持ち上げたり、おいたりするときに十分にご注意ください。

② 窓の取っ手部、窓の格子、ドアの窓の格子、破風(三角形のパネル)の両端は痛みやすい部分です。移動や、パネルの積み上げの際は十分にご注意ください。

③ 屋根に貼り付けた屋根材はやわらかいアスファルト材です。こすったり硬いものに当てたりすると剥がれますから取り扱いにご注意ください。

組立に必要な道具

あらかじめご準備ください。

軍手	パネルにはさくれなどがあります。
電動ドリル	強度を保つため、もくねじの本数を多くしています。硬い木を使用していますので、できればインパクト電動ドリルをご用意ください。
木槌	パネル同士をきちんとあわせるために使用します。
脚立(はしご)	屋根板を乗せる際、屋根を固定する際、屋根カバーを乗せる際に使用します。
メジャー	パネルの寸法を確認します。
水準器	床板の水平を計ります。
ダンボール紙など	パネルをよけておくときにパネルが傷んだり汚れたりしないよう下に敷きます。数枚後用意ください。
金槌	屋根の天辺にトタンカバーを釘打ちする際に使用します。
木工用ボンド	万が一金泉寺のわれなどが発生したときに使用します。
コンクリートブロック	9個以上、小屋の下に敷きます。詳しくは説明書を読んでください。 床を地面に直接置くと雨にぬれたりして痛みやすくなります。ブロックをしいて地面から小屋を浮かせます。

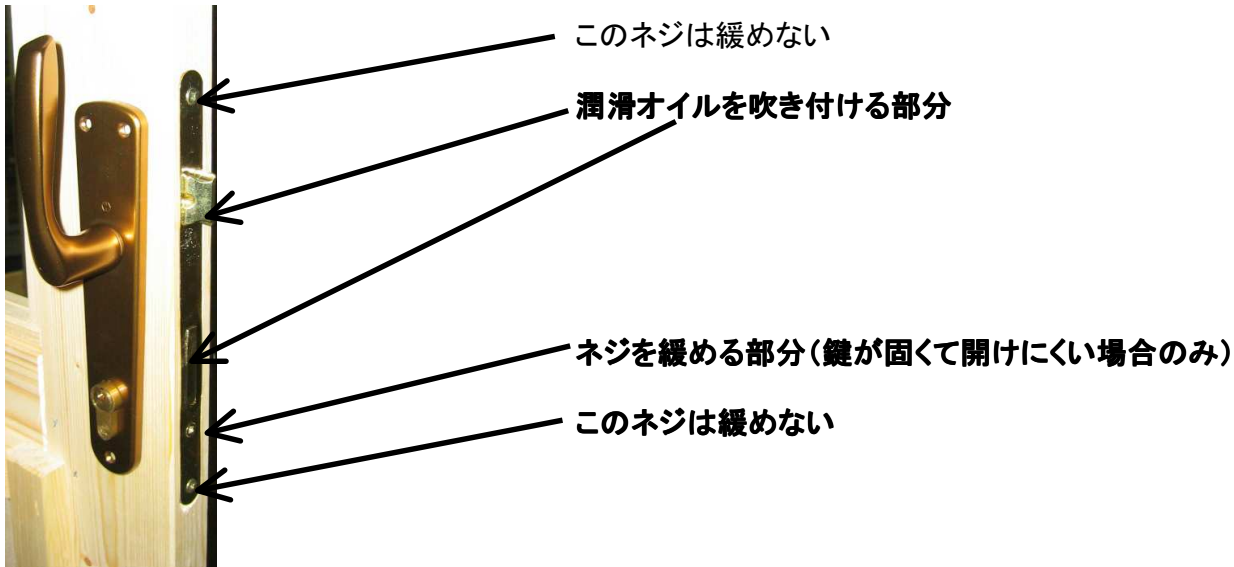


注意！

開梱・組み立て前に必ずこの説明書をお読みください！

組立のための準備

1. 組立は良い天気のとぎに行ってください。
風の吹いてきるときや雨の降っているときは危険ですので組立しないでください。
2. 地盤の安定したところに設置して下さい。
3. 組立時は周囲の安全をよく確保して行ってください。
4. 組立はWH-180W、WH-180Gの場合は最低2人、WH-230Gの場合は最低3人で行ってください。安全に、そして確実に組み立てていただくためです。
5. 組立前に説明書に一通り目を通し、大まかな手順を確認してください。
6. 組立前に説明書を読み、必要な道具をそろえ、組立に必要な環境を整備してください。
7. 組立は基礎の作業(基礎工事)や塗装以外の組立部分だけで2-3時間必要になります。時間に余裕を持って、明るい時間帯に組立が終わるようにしてください。
8. **ドアパネルについてのご注意**
 - a. ドアパネル下にはドアパネルがドアの動きで運搬中に傷まないよう、板が当ててあります。ドアパネルを組み付ける際には木ねじを抜いて、まずこの板をはずしてください。
 - b. ただし、ドアパネルを移動したり、固定したりする場合は鍵をロックした状態で行ってください。
 - c. ドアのカギ【ロック】は2段式になっています。
最初はカギがかかっていますので、鍵を解除するときは2回まわして鍵を解除してください。鍵をかけるとき1回まわしただけでもカギはかかりますが、浅い施錠となりますので2回まわしてしっかりと施錠してください。
 - d. 重要：ドアパネルを組み付ける前に一度鍵の開け閉めを確かめてください。鍵が固くなって開きにくくなっている場合があります。その際には市販の“錆止め潤滑オイル”等を吹き付けて、鍵の滑りを良くしておいてください。
 - e. 鍵が固くなって開きにくくなっている場合には鍵を固定しているロックのすぐ下の木ねじをわずかに緩めてください。その際にネジの頭があまり出ないように注意してください。緩めるのは1回転以内です。



8. (重要) 台風などの強風や地震などによる自然災害での破損に対しては損害保険に加入して対応されることをお勧めします。この商品は優れた強度が特徴ですが、破損に対する保障はされていません。